

埼玉県作業療法士会 広報誌

彩り

冬号
2024年度



- 災害リハビリテーション「JRAT とは？」
- 埼玉県作業療法士会 × 目白大学作業療法学科 文化祭レポ
- Quality of Campus Life ～作業療法学生に聞いてみた～

No.18

—作業療法に関わる全ての人たちの魅力を伝える情報誌—

災害リハビリテーション

皆さんは「災害リハビリテーション」と聞いて
どのような印象を持ちますか？



JRAT (一般社団法人 日本災害リハビリテーション支援協会) とは??

「『災害リハビリテーション』とは、超高齢社会となる我が国において多発する災害時に起こる被災者・要配慮者等の生活不活発および災害関連死を防ぐために、リハビリテーション医学・医療の視点から関連専門職が組織的に支援を展開し、被災者・要配慮者などの早期自立生活の再建・復興を目指す活動の全てを指します(2019.4 JRAT)。

この考え方を医療・介護従事者のみならず **地域住民** へも着実に定着させるために

「平時から地域包括ケアシステムの中で活動を行い、災害時には避難所環境整備、避難者のリハビリテーショントリアージ、および直接支援活動等を種々の災害支援関連団体との連携の下で実施していく」

こうした活動は、災害時のみならず日ごろから **地域住民** へお伝えすることで、
地域住民の手によって生活不活発病や災害関連死を予防することができます。

JRATの役割

(Japan Disaster Rehabilitation Assistance Team)

Rスタッフ、Dスタッフ、Lスタッフ3つの役割が求められる。

Rスタッフ

(Rapid Response Team Staff)

JRAT初動対応 チームスタッフ

支援活動において大規模災害発災直後から早期に情報を収集し、現地での本部立ち上げや支援を必要とする初動対応を行い、被災地のJRAT体制が整うまで支援することを目的とする役割。

Dスタッフ

(Disaster Assistance Staff)

JRAT災害支援 スタッフ

災害時に避難所支援活動の役割を担っています。支援内容は多く6つです。
1 他団体との連携、情報共有・発信
2 避難所アセスメント
3 避難所個別支援(予後予測、環境調整、DVT予防対策)
4 対策本部、調整本部からの情報収集
5 次活動部隊への申し送り
6 活動報告書の作成

Lスタッフ

(Logistics Staff)

JRAT ロジスティクス スタッフ

本部活動を行うスタッフ。能登半島地震では、東京都千代田区のJRAT中央対策本部でのロジスティック業務が役割。

実際の活動

東日本大震災

災害リハビリテーションとして初めて関連する団体が一つとなって支援した

埼玉県での活動内容 (東日本大震災時)

2011年

3月11日 東日本大震災発災

3月15日 福島県双葉町の住民が原発事故によりさいたまスーパーアリーナへ避難

3月22日 埼玉県医師会会長の要請によりボランティア活動を開始

4月15日 震災対応廃用予防ボランティアミーティングを実施

4月20日 埼玉県（加須市旧騎西高校）に避難した福島県双葉郡双葉町の町民の方々に対し、埼玉県医師会、理学療法士会、作業療法士会および言語聴覚士会の4団体合同でリハビリボランティア組織「CBR-Saitama Med.」を結成し、廃用予防を目的としたボランティア活動を開始

この4団体で活動したことにより、現在皆さんが地域で介護予防等の活動を行っている埼玉県地域リハビリテーション支援体制に繋がっていきました。

なかなか聞きなれない言葉にどこか敷居が高く感じている方もいると思います。

この後の記事で具体的な **体験談**、**研修会の様子** を伝えていますので

最後まで読んでいただければ理解が深まり、関心を持っていただきたいです。

災害リハのPR動画



災害リハビリテーションの内容をわかりやすくまとめた動画もあります。

こちらもチェックしてください。



私たちは一人でも多く仲間が増えることを期待しています。

災害リハ体験談

< 犬塚さん 株式会社ハート&アート作業療法士



どのような流れでボランティアに参加されましたか？



JRATから募集メールが来ました。そこで現地に行ける期間を入力しました。



どこに行かれましたか？



令和6年3月11～13日まで、石川県輪島市でJRAT活動へ参加してきました。現場で自分に何ができるのかと不安が募る日々でした。しかし不思議なことに、そこは志を同じくする仲間同士ということもあり、あっという間に打ち解けて、良い関係を築くことができました。



現地ではどんなことしましたか？



私たちJRATに与えられたミッションは、体操に参加してくれないが、運動の機会が減り廃用している方々に対して、何か別の切り口で活動してほしいという難しいものでした。私たちは、脳トレプリントの準備・作成、各ダンボールハウスを回っての配布・声かけ、コグニサイズや談笑時間などを取り入れたレクリエーション活動の定期的な提供を策定し、プレ実施しました。



JRATに参加してどんなことを感じましたか？



災害支援活動を通して、素敵な仲間に出会え、ゼロから生み出す貴重な経験をさせていただき、一人では解決できない課題もみんなの力を合わせることで、何らかの解法を導く可能性があることを身をもって体験できました。



< 渡部さん 医療法人真正会霞ヶ関南病院 作業療法士



どのような流れでボランティアに参加されましたか？



JRATに登録して、派遣してもらいました。



どこに行かれましたか？



令和6年3月15日（金）～3月17日（日）石川県珠洲市の現地支援活動に参加しました。幹線道路は大きな地割れの応急処置は終わっていましたが、電柱や信号機は傾き、マンホールは隆起したままなど、想像している以上に発災直後変わらない風景に言葉を失いました。



現地ではどんなことしましたか？



支援内容は、次の避難所へ移ることが身体的に可能かなどの動作評価や段ボールベッドの設置や環境調整を行いました。また仮設住宅へ入居する方の評価をして欲しいという依頼もあり対応しました。昼間は瓦礫の撤去や整理のため自宅へ行き、夜は避難所へ戻るといった生活を続けている方もまだまだ多く生活再建に向けた継続的な支援が必要だと実感しました。



JRATに参加してどんなことを感じましたか？



避難所から仮設住宅、新たな避難所へと生活環境が変化中、環境調整だけではなく、新たな役割や生きがいに寄り添い支援することが作業療法士には出来るのでは感じました。



研修会情報

埼玉県理学療法士会、埼玉県作業療法士会、埼玉県言語聴覚士会

災害リハビリテーション研修会

(Basicコース、Advanceコース)

を毎年開催しています。

Basicコース（基礎）：計17回開催

＜内容＞テーマ「災害時に療法士としてできること」に沿って、災害医療概論に始まり、避難所活動や本部活動など災害リハビリテーションの実際を知るための講義があり、基礎的な内容となっている。

Advanceコース（体験）：計8回開催

＜内容＞Basic コース受講修了者を対象に、「避難所支援を考える！～自分たちに出来ることは何か？～」をテーマとして、より実践的な内容を盛り込んだプログラムとなっている。



防災グッズ
非常食

展示・紹介



○今後について：

研修会はBasicコースを年2回、Advanceコース年1回のペースで実施

Basicコース修了者 約250名
Advanceコース修了者 約80名

今後は、Advanceコース修了者向けにフォローアップ研修開催も予定

わが国は、地震や台風などの自然災害が多い地域です。
超高齢社会となった今、災害時に一人でも多くの方を災害関連死から
守るために、私たちができることを一緒に考えてみませんか？

そのために、有事の際、支援可能な体制づくりを目指し、
JRATが主催する災害リハビリテーション研修会にご参加いただき、
支援できる仲間が増えることを期待しています。



コラボ企画



埼玉県作業療法士会

目白大学作業療法学科

埼玉県作業療法士会南部ブロックでは毎年目白大学とオープンキャンパスで夏キャンを通じてコラボ活動をしてきました。今回、目白大学の学園祭である桐葉祭にて、こども向けの啓発活動としてのコラボ企画を行いました。目白大学では各学科ごとに健幸ブースが開催され、作業療法学科では学生と共に子供たちが遊べる場を創りました！！

10/26（土）の当日は**バルーンドーム**と**フリーアート**の会場を作り、100名を超える方々に来場いただきました。子供たちの笑い声あふれるブースの様子をお伝えしたいと思います。



バルーン
ドーム

フリーアート



入口で仮装した
写真が撮れたよ♪



完成した作品
翌日廊下に飾り
ました！

参加者の感想

- ・楽しかった！！
- ・家では出来ないことが出来て楽しかった♪
- ・子供も楽しめる文化祭と聞いてきたけど、思ったよりも色々あって楽しめてるみたいで良かった！
- ・童心に帰れる感じで、親の私の方が楽しんでる気がする♪



企画、運営した学生達の感想

子供たちと触れ合う機会がなかったの
で、楽しい時間を過ごすことが出来て
楽しかったです！(目白大学4年石井)

たくさんの子供達が来場し、大成功に
終わってよかったと思います。子供達の
笑顔が見られ笑い声が聞こえた時、と
ても幸せを感じました。同時に、子供
達から活力を貰い国試に向けて頑張り
たいと思いました。(目白大学4年並木)

来てくれた沢山のお子さんとも楽しく
遊べて良かったです！お子さんの楽し
んでいる姿や、それを見て笑顔になっ
ている親御さんの姿を見ることができ
とても嬉しい気持ちになりました！(目
白大学4年柴田)

前日から準備をしました！

今回の企画は私にとって大きな挑戦
でしたが、県士会の皆様や廣瀬先生、
4年生の先輩方と試行錯誤しながら準
備し当日を迎え、無事終わられたこと
をうれしく思います。帰り際の笑顔や、
また来たいという声に涙が溢りました。
ありがとうございました。(目白大学3
年石野)

埼玉県作業療法士会南部ブロック副ブロック長 小林直人さんへのインタビュー

パンフレットを配りました

<経緯>

もともと目白大学のオープンキャンパスに夏キャンで参加して
いて、今回は学園際にも参加しようとなりました。

<今回の企画の目的>

作業療法をより多くの人に知ってもらいたいです。
養成校を目指すより前の年齢の子供達やその親御さん達に知っ
てもらおうことで、作業療法士の仲間が増えてほしいと思います。

<参加した感想>

学生が企画してくれていて、どのように進んでいくのか、人が
集まるのか不安でしたが、人が集まってくれて良かったです。
作業療法を知ってもらえる機会となって嬉しいです。





Quality of Campus Life



～作業療法学生に聞いてみた～

Vol.5

埼玉県作業療法士会では、県内の養成校の学生さんが『広報部学生サポーター』として広報部で活動し作業療法の魅力を伝えています
そんな広報部学生サポーターさんにリアルな学生生活についてインタビューしてみました！



【今回の質問内容】

学校でお気に入りの場所はどこですか？



↑3Dプリンタで印刷している様子

基礎作業学実習室です。主に革細工や木工等の作業活動を行う授業で使用します。また、たくさんの3Dプリンタを保有していて自助具の開発ができるなど、様々な活動ができて面白いです。歴代の先輩方が3Dプリンタで作製した自助具も展示してあり参考になります。毎年様々な方に向け3Dプリンタ研修会を行っていますので是非お越しください！



←3Dプリンタで印刷したペットボトルオープナー



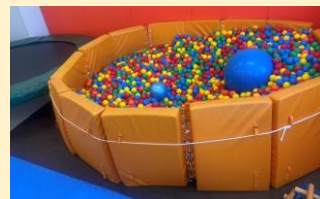
はるちゃん

感覚統合療法実習室という教室です。この教室には発達期の感覚統合療法で用いられるボールプールやトランポリン、スイングなどの遊具があります。

この部屋は発達期の治療学を学ぶために、授業中に遊具を使うこともありますが、床がマットになっているので勉強の合間にゆったりできるスペースでもあり落ち着く教室なのでお気に入りです！



スイング→



↑ボールプール



ゆうか

埼玉県作業療法士会広報部では、県内の作業療法の養成校に通う学生さんの中から学生さんのリアルを伝えてくれる『学生サポーター』を随時募集しています！



興味のある方は各養成校の先生に相談してみてね！

彩の国

2025

リハビリテーションフェスタ

“リハビリテーション”についてご存知ですか？

リハビリテーションのスペシャリスト3職種がリハビリテーションについて楽しみながら知って、学べる様々なイベントや体験を準備してお待ちしております!! お誘い合わせのうえ、是非お越しください!!

※申し込み不要! 参加無料! プレゼントも! ?

理学療法士

動作のスペシャリスト! 日常生活や社会生活に必要な「起きる」「立つ」「歩く」などの基本的な動作がより良くなるよう支援し、地域住民に向けた介護予防や生活習慣病の予防などに対してもアプローチします。



作業療法士

作業のスペシャリスト! 「食事」「更衣」「書字」など日常生活での応用的な動作・作業について練習することや、やり方の工夫、環境を調整することを通して、「その人らしい」生活の獲得に向けて幅広くアプローチします。



言語聴覚士

コミュニケーション、食事(摂食・嚥下)のスペシャリスト! コミュニケーションに必要な「ことば」「聞こえ」などの能力や食事に必要な「噛む」「飲みこみ」などの能力がより良くなるよう支援し、高次脳機能や認知面などに対してもアプローチします。



体験コーナー

—理学療法士ブース—

- ・血管年齢測定とストレッチ
- ・コグニサイズ
- ・子どもの口コモチェック

—作業療法士ブース—

- ・手工芸つくる、みる
- ・子どもの感覚遊び
- ・日常生活お助けグッズ

—言語聴覚士ブース—

- ・ジェスチャーでコミュニケーション
- ・耳年齢チェック
- ・いつまでも安全に「食」楽しむ!!
- ・ことばに関する〇×クイズ

日時:2025年2月2日(日)10:00~15:30

場所:川口市民ホール(フレンディア) 川口キュポ・ラ 4階

主催:(公社)埼玉県理学療法士会(一社)・埼玉県作業療法士会
(一社)埼玉県言語聴覚士会・(一社)埼玉県リハビリテーション専門職協会

お問い合わせ先:e-mail:chiikirihaken@yahoo.co.jp(埼玉県理学療法士会事務局 高齢者福祉部)

Follow me!!

オススメ!

チェック
してね!

公式 SNS

やっています

研修会情報やブロック活動など最新情報をいち早く発信します!



@ot_saitama



@sai_otCE



埼玉県作業療法士会



埼玉県作業療法士会 ホームページ